

陳 情 文 書 表

令和4年12月定例会

令和4年分陳情第20号

総務文教委員会

受理年月日	令和4年11月22日
件名	ガラス美術館の作品展示方法を見直す陳情
陳 情 人	
陳 情 要 旨	
<p>[趣旨] ガラス美術館が屋外で作品展示している方法の見直しを求める。</p> <p>[理由] 現在、2つの方法にて屋内・屋外での作品展示を行っている。 1つ目は、富山市が全額負担し設置された広告パネルを年間約1,000万円で4か所貸切り、ガラス作品を展示（ガラス作品展示は3か所、ポスター掲載は1か所）している。（広告費として、シクロシティ株式会社（青い自転車運営会社）へ支払いを行っている） 2つ目は、富山市自らショーケースを設置し、屋内・屋外にてガラス作品を展示している。メンテナンスは地元企業及び障害者団体に業務委託し、維持管理を行っている。</p> <p>(1) 見直しとして、2つ目の富山市が設置したショーケースが、経年劣化にて作品を展示するために適切ではない状態のため撤去方針と聞いた。 撤去するのではなく、新しいショーケースを設置し直すことを求める。</p> <p>(2) 見直しとして、1つ目の年間約1,000万円を支払い作品展示している事業を取りやめ、全て富山市自らショーケースを設置し、地元企業及び障害者団体の力をお借りし、ガラス作品を通し、人との結びつきを広める大切さを全国に広めることが富山市民の未来につながると考える。また、障害者の方々が社会と接する機会を増やすことも富山市として大切な事業の1つであると考えている。</p>	